

新年のご挨拶

NPO 法人地域活性化教育支援ネットワーク REN

理事長 長谷川 明

皆様、新年、あけましておめでとうございます。

皆様にとって、良い年となることを祈っています。

日頃、REN の活動へご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

本年も、皆様のご協力をいただきながら、地域活性化のための教育支援活動を推進して参りますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

今年のお正月のニュースでは、昨年元日に発生した能登半島地震の被災地から、いまだに復興に苦しむ地域の姿が報じられています。被災した建物やインフラの復旧が進められているものの、くらしや産業の復興までには多くの時間を必要としていることを伝えています。日本では、地震を避けてくらしや産業を考えることはできません。八戸市でも、2011 年の東日本大震災や、1994 年の三陸はるか沖地震など、多くの地震やそれに伴う津波によって人命や財産が失われてきています。被災を繰り返さない努力が必要です。また、各地で水害が発生し、家族を失い、食料や住宅を失って悲しむ人々が報道されました。さらに、この正月、津軽地区では、豪雪によって交通障害が発生し、くらしや産業に影響を与えています。洪水や豪雪では、その量がこれまでの記録を上回ることが近年の特徴となっています。

このような災害の中で、安全で安心なくらしや産業を維持するために、防災に関する知識を学ぶ防災教育が行われています。災害とその後の被害は、地域によって気候、地形、あるいは地盤が異なっていることから、それらの発生状況も異なったものとなっています。このため、防災教育では、自然災害の基礎情報とともに、地域の特徴を踏まえた防災や事後の対応が伝えられる必要があります。八戸であれば、八戸でのくらしに役立つ防災情報を伝えられていく必要があります。子供たちから大人までの市民の皆さんが、それぞれに応じた地域の防災に関する知識と行動をとることができれば、地域全体では大きな防災力となると考えています。各世代に応じた防災教育が、地域の大きな防災力を生み出すと思います。

八戸地区の高等教育機関では、防災に関する教育と研究が行われています。八戸工業大学や八戸工業高等専門学校には、優れた教授陣が学生とともに教育研究活動を行っています。キャンパスには教育研究活動のために実験設備を備え、防災に役立つ知見を生み出しています。その成果は、授業として学生たちに伝えられ、公開講座などでは市民にも広く公開されています。地震や津波、地盤、液状化、斜面安定、あるいは避難行動に関する知見を聴講することができます。また、八戸学院大学では、防災士に関する講座が開設され、毎年多くの防災士が育成されています。このような各高等教育機関が行っている防災に関わる教育研究活動は、八戸市の防災力を大きく成長させる活動です。安全・安心なまちづくりのために、市内でこのような教育研究活動を行っていることを、ぜひ共有し、活用してほしいと思います。

NPO 法人地域活性化教育支援ネットワークでは、中学生の皆さんに企業と大学を見学する活動

の支援をさせていただいています。多くの市民に、優れた企業や優れた大学があることを知っていただくための活動です。中学生を通して、市民の皆さんに知っていただきたい情報をお伝えしています。

ことしも、文字通り地域活性化のための教育支援活動を推進してまいります。

NPO 法人地域活性化教育支援ネットワーク REN の活動にご理解とご協力をお願いします。